

持続可能な社会の実現に向けて

当社は、1717年(享保2年)の創業以来、長きにわたって「病氣と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、業業一筋に邁進してきました。2021年度には、次の100年に向け、持続可能な社会の実現のために、サステナブル経営方針を新たに策定しました。

サステナブル経営方針



創業から300余年、私たちは社会とともに歩んできました。「病気で苦しむ人を救いたい」という想いを実現するため、不可能とされていた革新的な新薬を次々と創出してきました。私たちはこれからも、企業理念の実践を通じて人々の健康に貢献するとともに、責任ある事業活動を通して、持続可能な社会の実現に挑戦し続けます。

人々の健康への貢献

- 自社創業に加えて、世界のトップサイエンティストと協働して医薬品の研究開発に挑戦し、独創的かつ革新的な医薬品を安心・安全・適切に患者さんに提供することによって、世界の患者さんやその家族に多くの希望を届けます。
- エビデンスに基づいた次世代ヘルスケア事業によって、人々がより健やかに生活できる社会の実現に貢献します。

関連するSDGs



次世代への豊かな地球環境の保持

環境に対する社会的責任を強く認識し、地球環境にやさしい技術を積極的に取り入れ、取引先やパートナーとともに、次世代に豊かな地球環境を引き継ぐべく活動します。

いきいきと活躍できる社会の実現

事業活動を通じて、全ての人々の権利と多様性が尊重され、人々がいきいきと活躍できる社会の実現に貢献していきます。

透明性の高い強固な経営基盤の確立

コーポレート・ガバナンスを通じて強固な基盤を構築するとともに、コンプライアンスの強化やリスク管理を通じて、透明性の高い事業活動を行います。

マテリアリティ

成長戦略とサステナブル経営方針のもと、財務と非財務を統合した経営を推進していくために2021年度、マテリアリティの位置付けを“CSRの重要課題”から“経営の重要課題”に変更し、18のマテリアリティとして再特定しました。これらマテリアリティごとに取り組みを推進することで、当社と社会、双方の持続可能性向上を図り、長期的に企業価値を高めていきます。

